

7/12
五、後

有権者は改憲を容認していない

参院選結果で九条の会

九条の会事務局は11日、参院選の結果について、「有権者は改憲を容認したわけではない」とする見解を発表しました。見解は、野党共闘が大きな成果を挙げたとしつつ、与党と改憲を志向する政党、無所属議員が議席の3分の2を超えたと指摘。「日本と憲法の進路にとって重大な局面を迎えています」と訴えています。

見解は、安倍晋三首相が参院選の結果を口実に「9条の改変を照準に定めている」と警告。9条改憲反対の一点で多くの市民の声と力を結集し、改憲勢力に対抗していく決意を表明しています。